

大自然を肌で体感 スノーモビルの魅力

雄大な北海道の冬を楽しめるスノーモビル。当別の愛好者30人ほどで結成する「当別スノーモビルクラブ」は、『自然を大切に！』をモットーに、子どもから大人まで楽しめるスノーモビルの普及を目指している。



当別スノーモビルクラブ



今年も「あそ雪の広場」で好評だったスノーモビル試乗体験。順番待ちする子ども達を次々と乗せて河川敷を一周。雪原を駆け抜け肌に感じるスピード感、堤防を一気に上がって下るダイナミックな走行。スタート時に一瞬緊張する子どもの顔もゴールの時にはどの子も爽快感と満足感でニコニコ顔に。日常の中ではなかなか経験できない空間にどの子も夢中になっています。そんな楽しい時間を作ってくれているのが「当別スノーモビルクラブ」の会員です。

スノーモビルがレジャーとして普及し始めた昭和62年に結成してから活動を続けています。

「結成当時、当別でも個人で楽しむ人が増えてきて、雪原や林道を走っていたんですが、スピードも伴うし自然環境に影響を与えるようでは良くないと思い、安全運転やマナー、親睦などを目的に仲間を集めてクラブを結成したんです」と話すスノーモビルクラブ会長の宮本清美さん。当時を振り返って「新車は買えないので、



みんな中古を安く購入して乗っていましたね。やっぱり故障なんかも多くて、ツーリングに行った山の中

で修理しながら乗ることもよくありました。でも、モビルに乗って自然を楽しむことは夏場には経験できない格別のものがあります」とその

面白みは体験者のみが語れるらしい。

クラブは、「あそ雪の広場」の手伝いのほかに年に3回ほどツアーを計画して活動してい

ます。「若い人達はスピード感を求める人も多いんですが、私位になると年齢も上なので、スピードより自然を楽しみながら雄大感を味わって乗っています。若い人から高齢の方まで楽しめる乗り物ですが、楽しむためには安全運転とマナーを守ること、常に自然環境を大切にすることを心がけています。林や小動物を傷つけないことはもとより、ゴミの後始末など自然を破壊しないように会員と常に確認しあっています」と会長が言うようにマナー第一の活動を徹底しています。

また、今までにスノーモビルでパラシュートを付けた人を引っ張り上げる「パラセーリング」体験や元旦に初日の出ツアーをするなど、スノーモビルを活用した楽しみ方もたくさん体験しています。「お父さんが乗る姿に憧れて息子さんがやり始める人も結構いますね。親子のコミュニケーションにも役立っているのでは」とその楽しみ方もそれぞれです。

「これからがスノーモビルには最高の季節。夏から待ち遠しかったモビルを思う存分楽しみたいですね」と心弾ます会員のみなさんです。

